日清オイリオグループ株式会社　決算補足資料

2021年度（2022年3月期）　第3四半期

1.　決算概要
　1-1.　2021年度 第3四半期決算
　1-2.　セグメント別実績
　1-3.　セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前年同期比）
　1-4.　セグメント情報詳細
2.　2021年度業績見通し
　2-1.　2021年度業績予想
　2-2.　2021年度セグメント別見通し
　2-3.　セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因　通期見通し（対前期比）

1. 決算概要

1-1. 2021年度 第3四半期決算

単位：百万円

	2021年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	前年同期比 増減額	 増減率
売上高	313,634	251,565	+62,069	+24.7%
海外売上高比率	20.5%	17.4%	+3.1P	—
営業利益	9,254	12,504	△3,250	△26.0%
売上高営業利益率	3.0%	5.0%	△2.0P	—
経常利益	10,266	13,060	△2,794	△21.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,331	8,987	△1,656	△18.4%

1-2. セグメント別実績

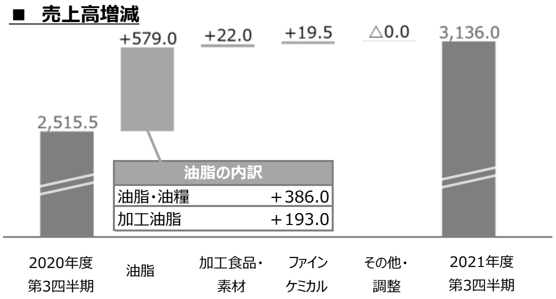
単位：百万円

		2021年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	前年同期比 増減額	 増減率
売上高		313,634	251,565	+62,069	+24.7%
油脂		256,870	198,975	+57,894	+29.1%
	油脂・油糧	197,076	158,460	+38,616	+24.4%
	加工油脂	59,794	40,515	+19,278	+47.6%
加工食品・素材		42,226	40,014	+2,212	+5.5%
ファインケミカル		12,620	10,652	+1,967	+18.5%
その他・調整		1,916	1,922	△5	△0.3%
営業利益		9,254	12,504	△3,250	△26.0%
油脂		6,881	10,875	△3,994	△36.7%
	油脂・油糧	3,616	8,546	△4,929	△57.7%
	加工油脂	3,264	2,328	+935	+40.2%
加工食品・素材		1,529	1,490	+39	+2.6%
ファインケミカル		1,165	681	+484	+71.0%
その他・調整		△321	△542	+220	—

1-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前年同期比）

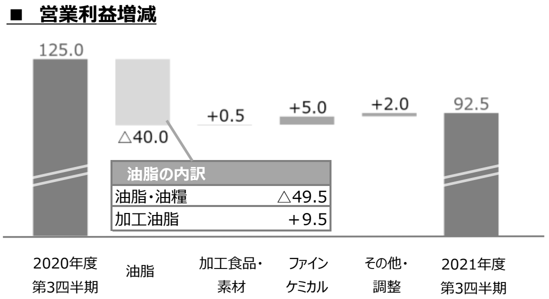
単位：億円

■ 売上高増減



＜売上高増減要因＞
〇油脂
・原料コスト上昇を受けた販売価格の改定 （↑）
・外食需要の持ち直しに伴う業務用製品の販売数量増（↑）
・内食需要が急増した前年同期と比較し、ホームユース製品における汎用品の販売数量減（↓）
・ミールの販売数量増および販売価格の上昇（↑）
〇加工食品・素材
・チョコレート製品の販売数量増（↑）
・MCT製品の販売数量増（↑）
・大豆素材・食品製品の販売価格の改定および販売数量増（↑）
〇ファインケミカル
・化粧品原料の需要回復による国内・海外での販売数量増（↑）

■ 営業利益増減



＜営業利益増減要因＞
〇油脂
・油脂・油糧および加工油脂における原料コストの上昇 （↓）
・原料コスト上昇を受けた販売価格の改定 （↑）
・パーム油取引の時価評価益の増加 （↑）
〇加工食品・素材
・チョコレート製品の販売数量増および利益率の改善（↑）
・調味料における原料コスト上昇（↓）
〇ファインケミカル
・化粧品原料の需要回復による国内・海外での販売数量増（↑）
・新工場稼働に伴う減価償却費負担増（↓）

1-4. セグメント情報詳細

油脂（うち油脂・油糧）

単位：百万円
増減額は前年同期比

	売上高		営業利益増減額	コメント
	売上高実績	増減額		
国内油脂	115,042	+17,776	△5,227	・油脂販売価格の改定、業務用製品の販売増、ミール販売における数量増および価格上昇により増収。 ・原料代高騰等に伴い販売価格の改定を進めるも、油脂コストの大幅上昇の影響が大きく減益。
業務用・加工用	70,129	+17,723		
ホームユース	44,913	+53		
ミール	58,600	+19,340		
子会社	54,026	△8,134	+175	
連結調整 他	△30,593	+9,634	+122	
油脂・油糧 計	197,076	+38,616	△4,929	

※業務用・加工用およびホームユースの売上高は、国内油脂売上高の内数

補足：国内油脂に占める付加価値品

売上高構成比	売上高増減額
21%	+241

※収益認識基準の変更による影響額を加味して算出

補足：国内油脂の営業利益増減額の内訳　単位：億円

	増減額	主な要因
販売数量要因	+3.0	業務用・加工用（+5.0）、ホームユース（△2.0）
販売単価要因	+201.0	業務用・加工用（+164.0）、ホームユース（+37.0）
コスト要因	△256.0	
大豆	△102.0	C&F（△206.0）、為替（△8.0）、ミール販売（+112.0）
菜種	△201.5	C&F（△237.0）、為替（△8.5）、ミール販売（+44.0）
その他商品・製造費	+47.5	期首期末棚卸影響 等
販管費・その他	+0.0	
合計	△52.0	

油脂（うち加工油脂）

単位：百万円
増減率・増減額は前年同期比

	売上高実績	数量増減率	営業利益増減額	コメント
海外加工油脂	59,911	+4%	+1,281	・販売数量増および販売価格の上昇により増収。 ・原料コストの上昇による減益要因があったが、販売数量増、販売単価上昇に加えて、パーム油先物時価評価の影響により増益。
欧州	23,932	+34%		
アジア	32,719	△11%		
その他地域	3,259	△9%		
国内加工油脂	7,381	+2%	△264	需要回復に伴う販売数量増も、売上原価上昇により増収減益
連結調整 他	△7,499	―	△81	
加工油脂 計	59,794	―	+935	

補足：海外加工油脂に占める
チョコレート用油脂を中心とした
スペシャリティファット

売上高構成比	販売数量増減率
31%	+5%

加工食品・素材

単位：百万円
増減額は前年同期比

	売上高		営業利益増減額	コメント
	売上高実績	増減額		
チョコレート	21,620	+319	+200	販売数量増および利益率の改善により増収増益
調味料	3,346	+55	△154	販売数量増も、原料コストの上昇により増収減益
機能素材・食品	5,325	+157	△69	MCTの販売数量増により増収も、原料コストの上昇により減益
MCT	3,897	+263		
大豆素材・食品	14,477	+654	+61	販売数量増および販売価格上昇により増収増益
連結調整 他	△2,542	+1,025	+1	
加工食品・素材 計	42,226	+2,212	+39	

※MCTの売上高は機能素材・食品売上高の内数

ファインケミカル

単位：百万円
増減額は前年同期比

	売上高		営業利益増減額	コメント
	売上高実績	増減額		
ファインケミカル製品	9,188	+2,393	+541	国内・海外における化粧品原料の需要回復を受けた販売数量増および適正価格での販売により増収増益
化粧品原料	6,412	+1,899		
環境・衛生	5,356	+78	△54	販売数量増も、利益率の高い製品の販売減により増収減益
連結調整 他	△1,924	△504	△2	
ファインケミカル 計	12,620	+1,967	+484	

※化粧品原料の売上高はファインケミカル製品売上高の内数

主な換算為替レート （期中平均レート）

	円/USD	円/EUR	円/MYR	円/CNY
2020年度第3四半期	107.55	120.93	25.42	15.37
2021年度第3四半期	111.14	130.60	26.30	17.26

2. 2021年度業績見通し

2-1. 2021年度業績予想

単位：百万円

	2021年度 見通し	2020年度 実績	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	400,000	336,306	+63,693	+18.9%
営業利益	11,500	12,324	△824	△6.7%
経常利益	12,000	13,836	△1,836	△13.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	7,700	9,244	△1,544	△16.7%

2-2. 2021年度セグメント別見通し

単位：百万円

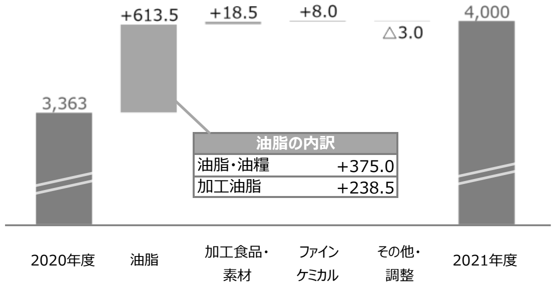
	2021年度 見直し①	2020年度 実績②	前期比 増減額(①－②)	前期比 増減率	2021年度 (前回開示③)	前回開示比 増減額(①－③)	前回開示比 増減率
売上高	400,000	336,306	+63,693	+18.9%	400,000	－	－
油脂	327,500	266,132	+61,367	+23.1%	327,000	+500	+0.2%
油脂・油糧	250,000	212,514	+37,485	+17.6%	260,000	△10,000	△3.8%
加工油脂	77,500	53,617	+23,882	+44.5%	67,000	+10,500	+15.7%
加工食品・素材	55,000	53,146	+1,853	+3.5%	55,000	－	－
ファインケミカル	15,000	14,194	+805	+5.7%	15,000	－	－
その他・調整	2,500	2,834	△334	△11.8%	3,000	△500	△16.7%
営業利益	11,500	12,324	△824	△6.7%	11,500	－	－
油脂	9,000	10,419	△1,419	△13.6%	9,300	△300	△3.2%
油脂・油糧	4,800	9,548	△4,748	△49.7%	5,950	△1,150	△19.3%
加工油脂	4,200	870	+3,329	+382.6%	3,350	+850	+25.4%
加工食品・素材	1,600	1,810	△210	△11.6%	1,700	△100	△5.9%
ファインケミカル	1,300	792	+507	+64.1%	900	+400	+44.4%
その他・調整	△400	△697	+297	－	△400	－	－

※新セグメントによる２０２０年度実績数値は概算値であり、会計監査人による監査を受けたものではありません

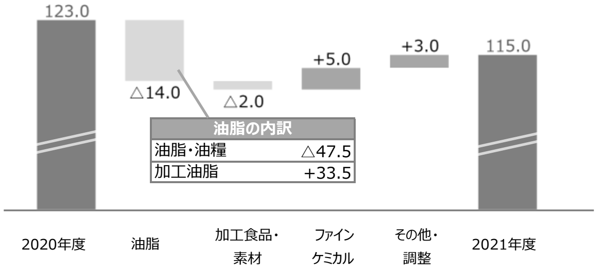
2-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因 通期見通し（対前期比）

単位：億円

■ 売上高増減



■ 営業利益増減



＜売上高増減要因＞

〇油脂
- 原料コスト上昇を受けた販売価格の改定 （↑）
- 外食需要の持ち直しに伴う業務用製品の販売数量増（↑）
- ホームユース製品における汎用品の販売数量減（↓）
- ミールの販売数量増および販売価格の上昇（↑）

〇加工食品・素材
- チョコレート製品の販売数量増 （↑）
- MCT製品の販売数量増（↑）
- 大豆素材・食品製品の販売価格の改定および販売数量増（↑）

〇ファインケミカル
- 化粧品原料の需要回復による国内・海外での販売数量増（↑）

＜営業利益増減要因＞

〇油脂
- 油脂・油糧および加工油脂における原料コストの上昇 （↓）
- 原料コスト上昇を受けた販売価格の改定 （↑）
- パーム油取引の時価評価益の増加 （↑）

〇加工食品・素材
- チョコレート製品の販売数量増および利益率の改善（↑）
- 調味料における原料コスト上昇（↓）

〇ファインケミカル
- 化粧品原料の需要回復による国内・海外での販売数量増（↑）
- 新工場稼働に伴う減価償却費負担増（↓）

"植物のチカラ" NISSHIN OilliO

参考資料

■ シカゴ大豆相場

出典：Bloomberg

■ ICE菜種相場

出典：Bloomberg

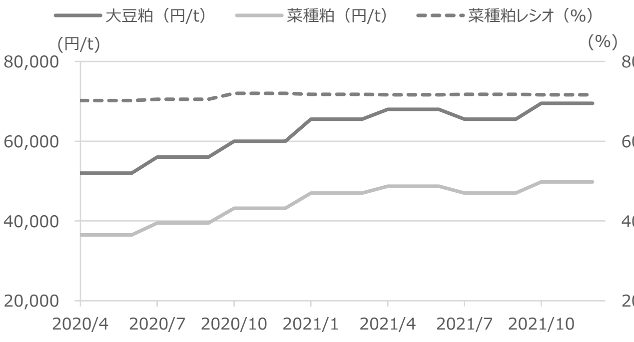
■ パーム原油相場

出典：Bloomberg

■ 為替相場（円/ドル）

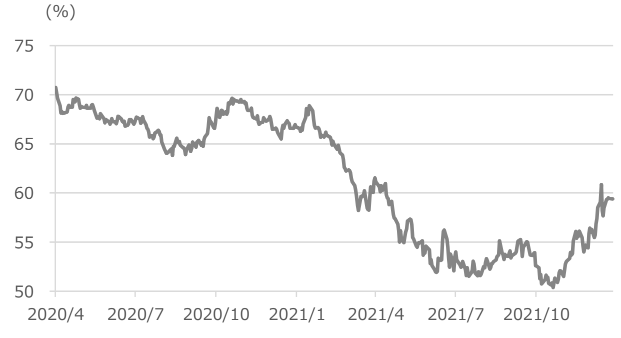
出典：Bloomberg

■ ミール業界平均価格



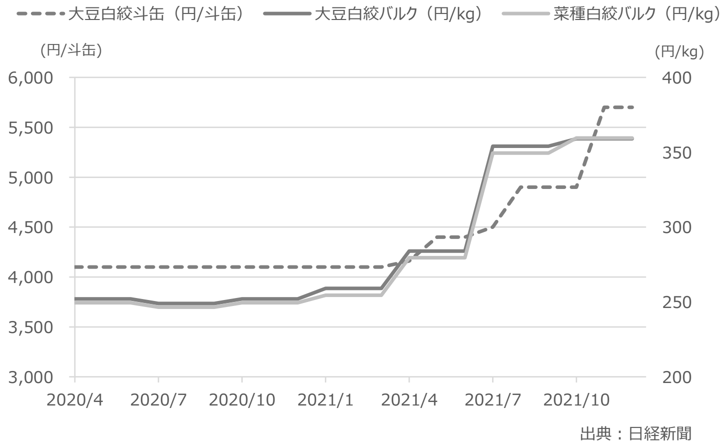
出典：油脂特報

■ ミールバリュー推移



出典：Bloomberg

■ 日経市中相場（業務用斗缶）

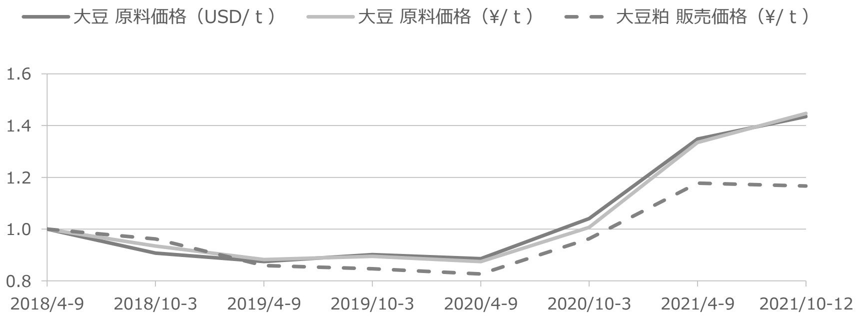


出典：日経新聞

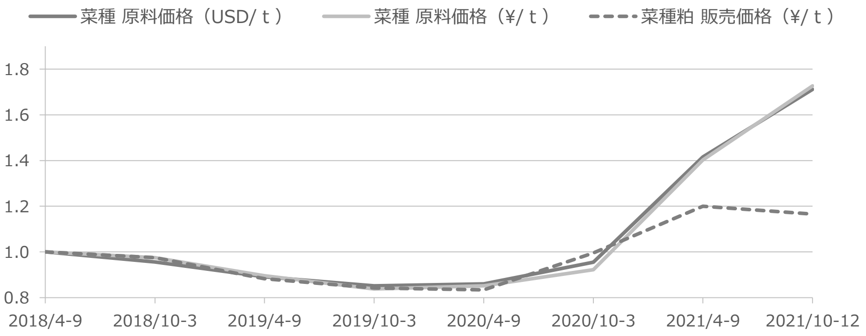
参考資料

※2018年4-9期を1とした指数
出典：日清オイリオグループ(株)の数値

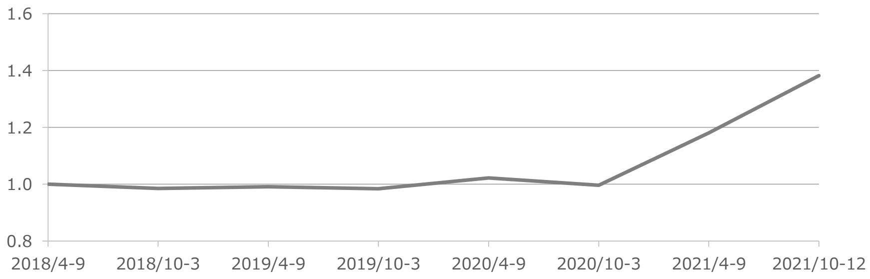
■ 原料･油粕（大豆）



■ 原料･油粕（菜種）



■ 油脂主要商品の販売価格　（ギフトを除く、加重平均単価）



"植物のチカラ" NISSHIN OilliO